重井菱深草小紋

春水作

初編

上

へ13
3223
53

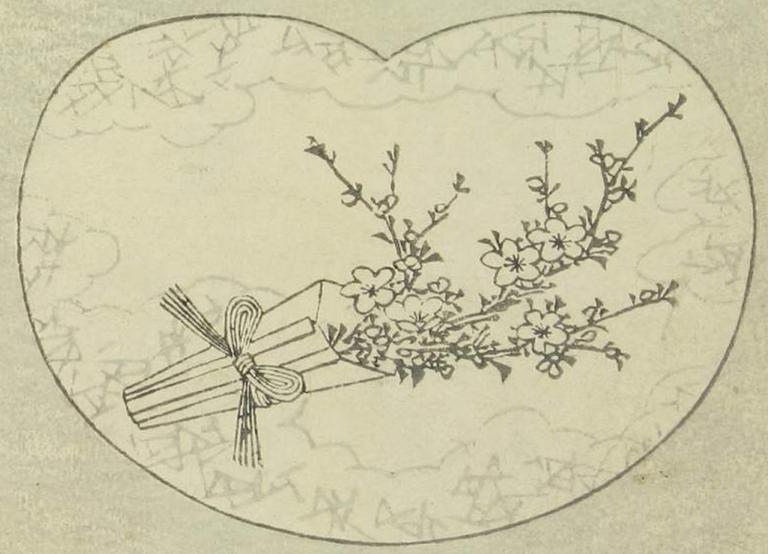
へ13
3223
53
特

重井菱染別小紋

為永春水作

一陽齋豊國画

初編上巻



戯曲本で御ぞんじの染別手綱を翻案して。染別小紋と題号し。素より書舗の注文帳ふして。重の井菱ハ這回の新形。紺屋の明後日夫ゑ〜で。たゞるけるとゝ口癖を。今茲ハ安来年の春の仕込を此春ゝ〜。却也權兵衛が種本を。烏小似くる厥人が。躰てゞ〜る鑿の先。當るとゝバさのさゝ。よゝ〜。書賈さんがきゝ〜ハ待機嫌。笑ふて損ハ内證の。支ゝぐ。髮へ書立て。我ゝ〜恥をかき八年。ハ中の春の新板ゝ。三本たゝ〜ゐ〜の智恵。ゆゝ〜むせゝふ序文ゝ。ひゝかきまゝ〜〜一部とあせる。

為永春水誌

不禮講
脇屋少將
義隆

義隆の御臺
錦の前

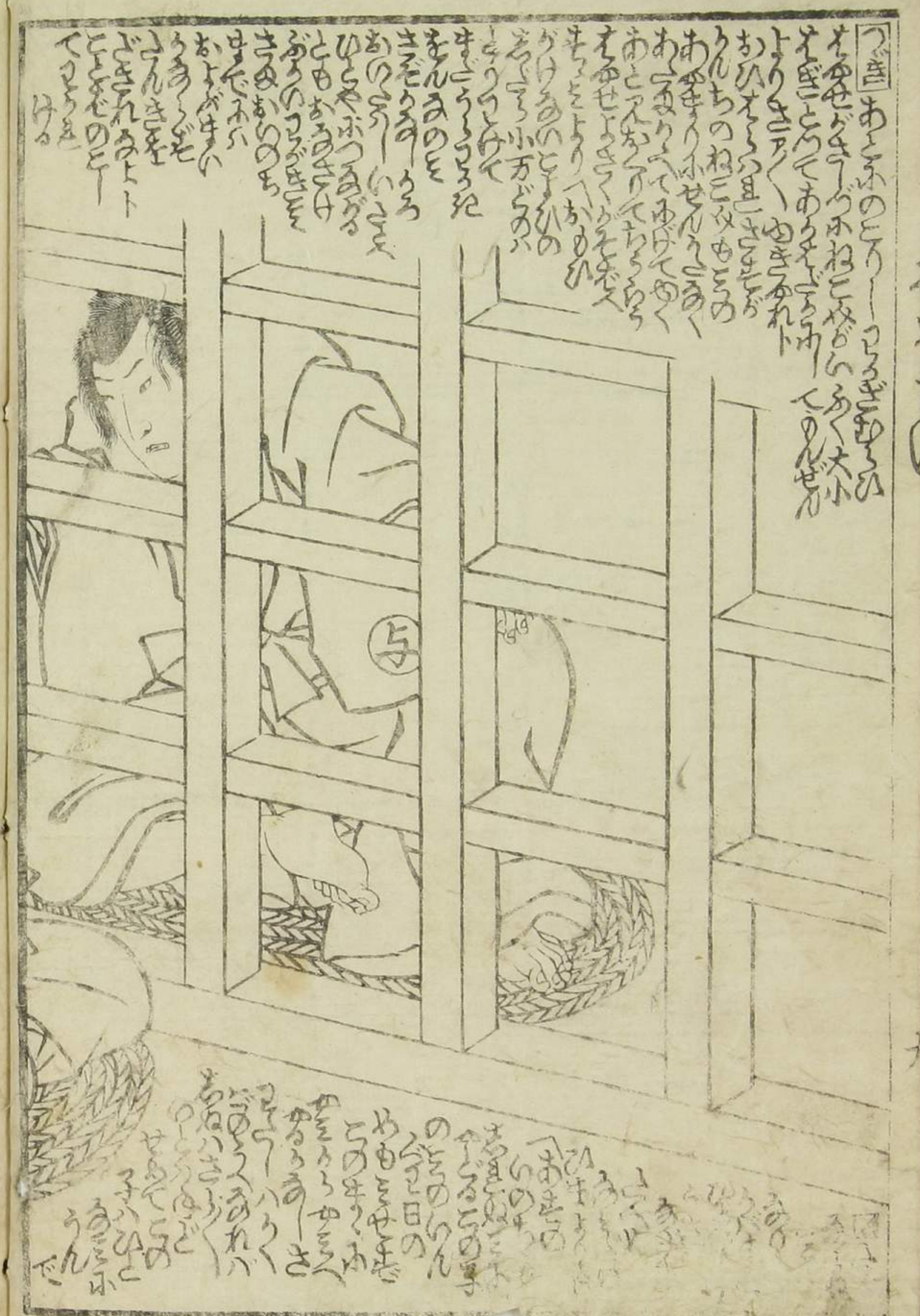
錦の前の側少女
小万
後ふ
花若丸の姫重の井
美濃
おもひ
きる
と
与作ぶ一子
自然生の
三吉

猫の忠
伊達の与作
吉春
脇屋
公の
達
花若丸
天蓼
猫
助

久門人國殿画

早
小

鶯亭



つぎ日のめもとまぢとろまのの
おやのりんぶとぐそまわなふもりくハ
こまるまちくしさ
ゑびくハろくつもくまくの
おもれのまのあろが
ろくきくくぶらろホ
まよふてこをう
あのりぐろりのく
よのりれせーめ
りあるくもくよく
ありかまのりろも
ゑきみもんあのも
さとろてこまくもんみ
ゆあゑろりぶりまのろ
ゑもゆめとおゆてあきこ
めよトくちホハりくどもの
ぶつぞのせきろるゑまぐこのこそれで
ゑるれうわちる男のとろおりれ
ゆるわどりのくーくゑこぐのあめの
えまきまゑきさこられ月ももゑられて
とりくすきれろらるまぐ
あきこられあもかくらこゑ一月を
すぐるまでにけいさのこどさこゑきく
ちくらりろもゑもぐまりくれこまひ
りのゑどつくろてひとやのあんぴを
こぐやくこりりくれろもゑりくしぐ
そのこーのゑりのみやゑ日小丑八さゑけ
つまひとやのこちホありゑぶくりのひの
わくれまもくとくここゑおとせーハまものこゑ

のちのゑげきく
もくゑどもうまこれの
ゑのこのこのここまぐーハ
うきこをうこまこける

豊國画

春水作

獨娘智八人出世双六

書本一番板画彩色

大錦六枚続

刀筆選賀作

一陽斎豊國画

彫く狂斎画

樂屋壽古六

三蓮居鶴若三つ巴化粧の図五極面白き双六之

男女振分浪替壽語六

同作

同

奥奉公出世双六

同作

同

武家奉公出世双六

同作

豊國画

子寶延命袋

同作

同

紙幣金一朱

豐國画
金上州屋
下

重井菱深別小紋

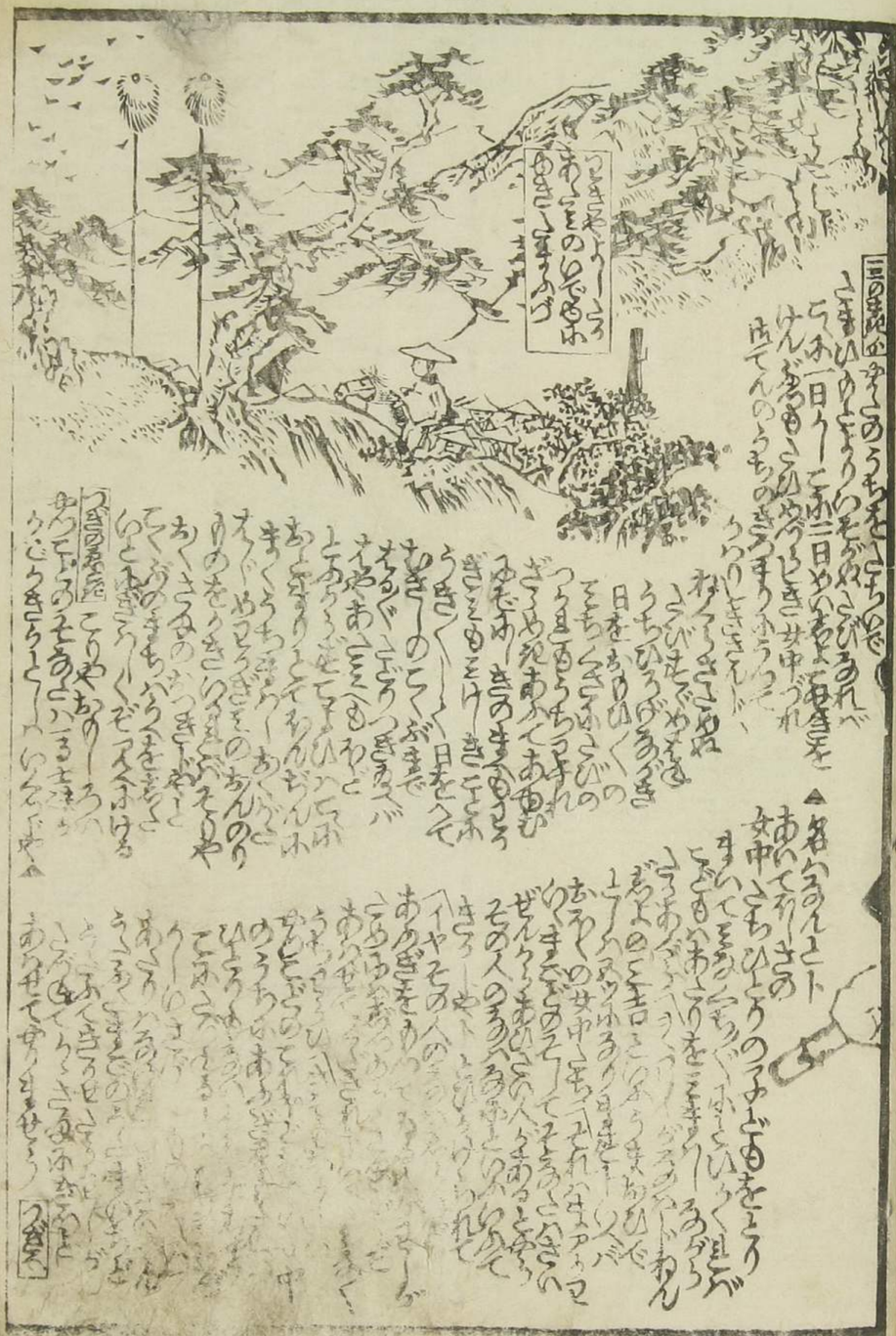
つゞき

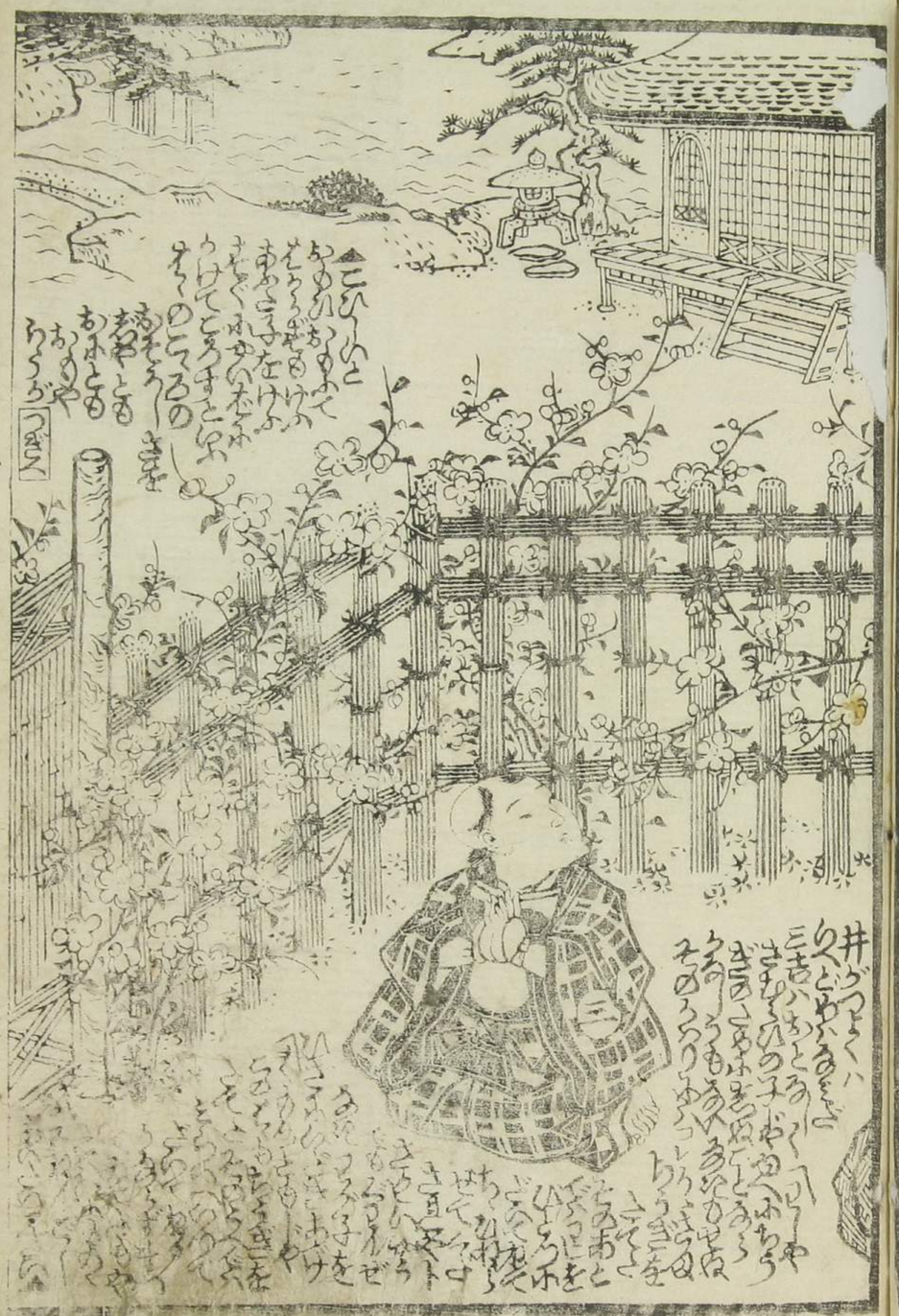
与

重

宮

錦
太
重
花





元治二年乙丑春新版目録

侠文庫 五十二編 五十三編 五十四編 一壽齋國貞画 万亭應賀作

新編朝日譚 初編 柳亭種彦作 五編 一恵齋芳幾画

重井菱染別小紋 爲永春水作 八編 大尾 歌川豊國画

海苔のみ 十返舍一九作 五編 大尾 同画

常磐津懐中本 初編二編 小本 三編四編 中本 各二冊

重彫草紙本類問屋 人形町 上州屋重藏 板

重の井菱染羽織小紋

為永春水作

二編

上

重宝井菱深別小紋

人形町通り
上州屋重藏

嘉永三
庚戌春
二編
上
春水作
豐國画

僕墨池の濁りを紙りて稗史小説小手を畫をとらへどゝ。新奇妙案ゐ紀をのて年く歳くこゝゐ相似より。再々念入き此一同ゞゝゝゝ。趣向ゐゞゐと匂小手を置はゞゝゝて出ぬ智恵を額の汗のあつらまゝゝ。綴合せゝ一小冊ハ善悪邪正の染別小紋前編既ゐ發行して。今や二編の早染ハ。迚も媚茶の革色のと。當世ゐハ中ゐ鼠ゝとて作意ハチウゐ。画ハゐ別染の豐國ゐて團扇堂ハ例の製本の氣張人外題の美麗ゞゝゝでゐ。どうやら落をとりとけて。ヲヤ宜の子エとの御評判ゐ管稱ゞゝゝ

為永春水誌

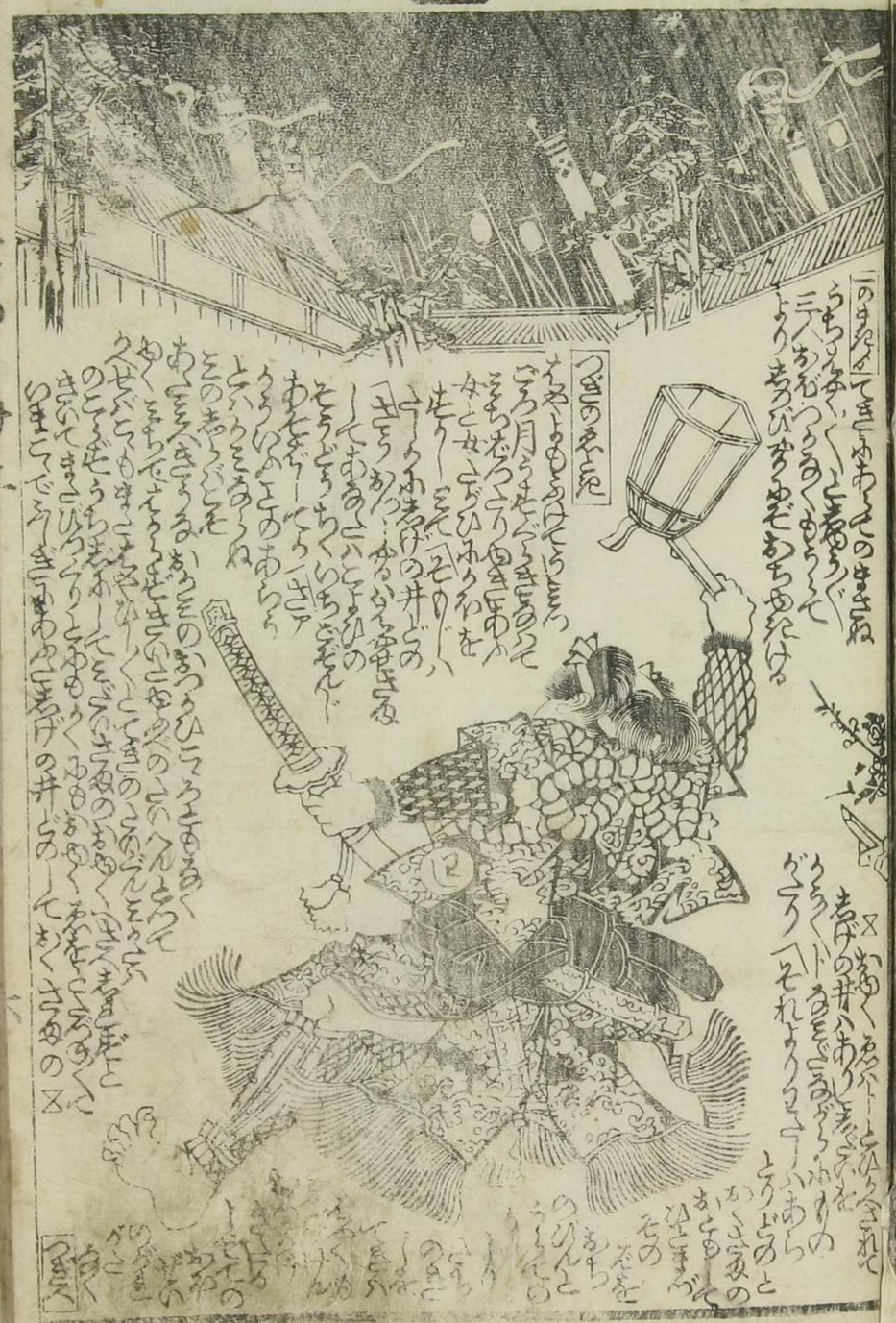
旌山八平次の内室動の前
光梶八藏

信夫太郎武隈
奥女中 早瀬

新田左少將
義方
小和田次郎正香

楠正勝の息女名取姫
信夫が渾家宮城野

重
動
与
三


二

錦

従是東 玉川の里

つゞき
大こん
本陣宿
八

一陽齋豊國画

金上州屋

染別小紋二編

下冊

為永春水作

一陽齋豊國画

江戸 須原屋茂兵衛
東京 堂板

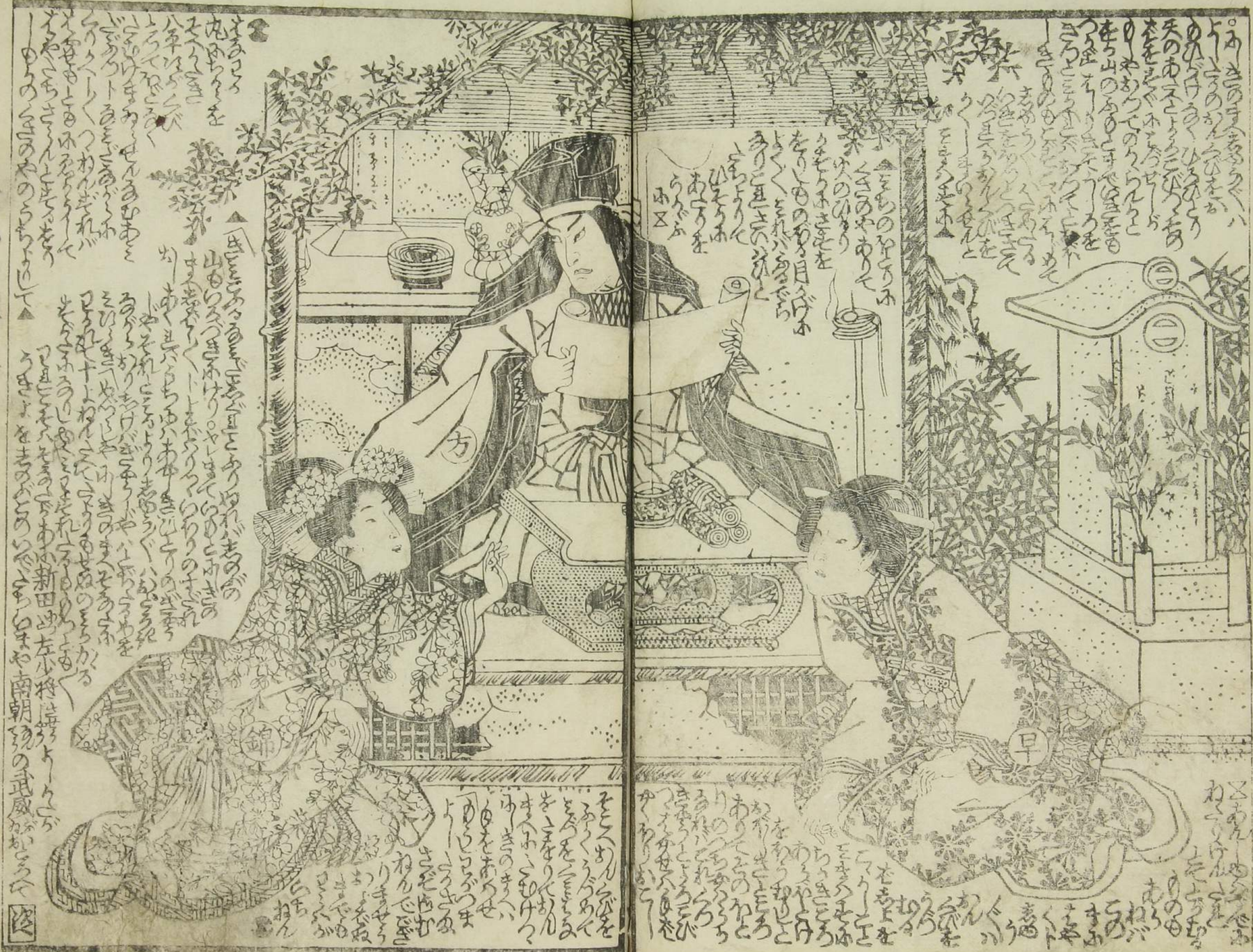
水

錦

錦
早
子

重

与
女

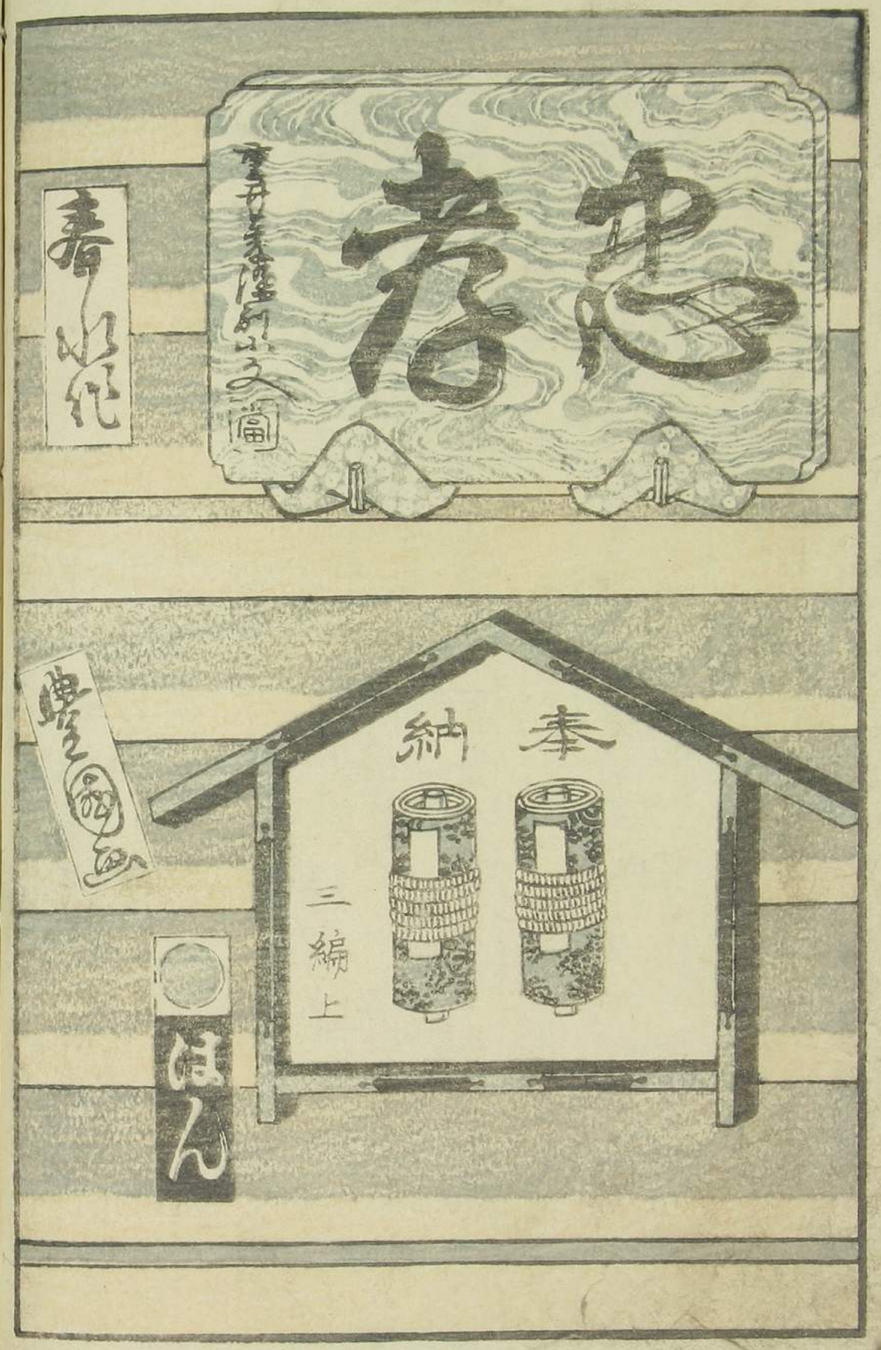


方
錦
早

貞
三七
宮
三

爲永春水作

一陽齋豐國画



画師と作者と板元と。三口寄まゝ何も正月。モーの梅の香も失せぬ。櫻もまゝ元頃より。七ヤ来稔の新板を。偖ゞ甘うの相談ハ鬼が笑ふの諭ハ洩さねど。昨日ハ今日の昔とあり。夕ハ且を旧さろ。斯く逸迅き時行變化あるゞ中ゆも取ってけく。目先の速き戯黄本とも合巻物の本ともいへ人ハ源氏の行ふまゝより室町様の大将髻ゑんぞれうぞを引出して画組ゞ時代ハたまふれば童幼ゞこれ意ハ恍ぼとだろうつく出ゝ巻も襲次安ハ長蝉髪ゞ諺ハ琴ゞ柱ハ膠コロリンちゃんとしゝ跡ハ。世話ハ落さゞ自ろゝ目先も昏ゝく古笑ひの。端ともあゝんと三編ハ三個寄ゝく三文ゞ。智恵をゝろゝ積ゝぐ序を

嘉永甲寅年新板

爲永春水記

ゆくさのこだん
やぶらのうらと
松竹梅のすがあけ
小姓吉三
寿
ひるひのまくら

おくみのするむと
ゆうちのゆんぶん
てんまのこぶちゃ
茶菓
たくあん
納
丁稚久松
たうらのまさご
さくさくまのふるひけき
ちんぎんじ

浪客
山家
促平
油屋の
番頭
善六

釜屋
武兵衛
植木賣
遲ざくらの
阿重
犬の用心

休
七
宮

大當帳
杉
逸

二
宮
杉
迎

きさ
米
武
吾
米川米四
鬼

七
十六

廿九
卅

七

傳

獨娘賀八人出世双六　大錦　万亨應賀作
賞美一彩板五枚組　一陽斎豊國画
厚く狂斎画

樂屋壽古六　三美居種　若三郎名　化粧の図　手拭面白　吉双六之
美の花　春きまさく　同作
色恋　奉双六　自房画

男女　やくざすごろく
振分　役替壽語六　同作
福まつり　名紙色紙あり　豊国画

武家奉公出世双六　同作
豊国画

奥奉公出世双六　同作
同画

子寶延命袋　同作
松壽全一冊　同画

豐國画

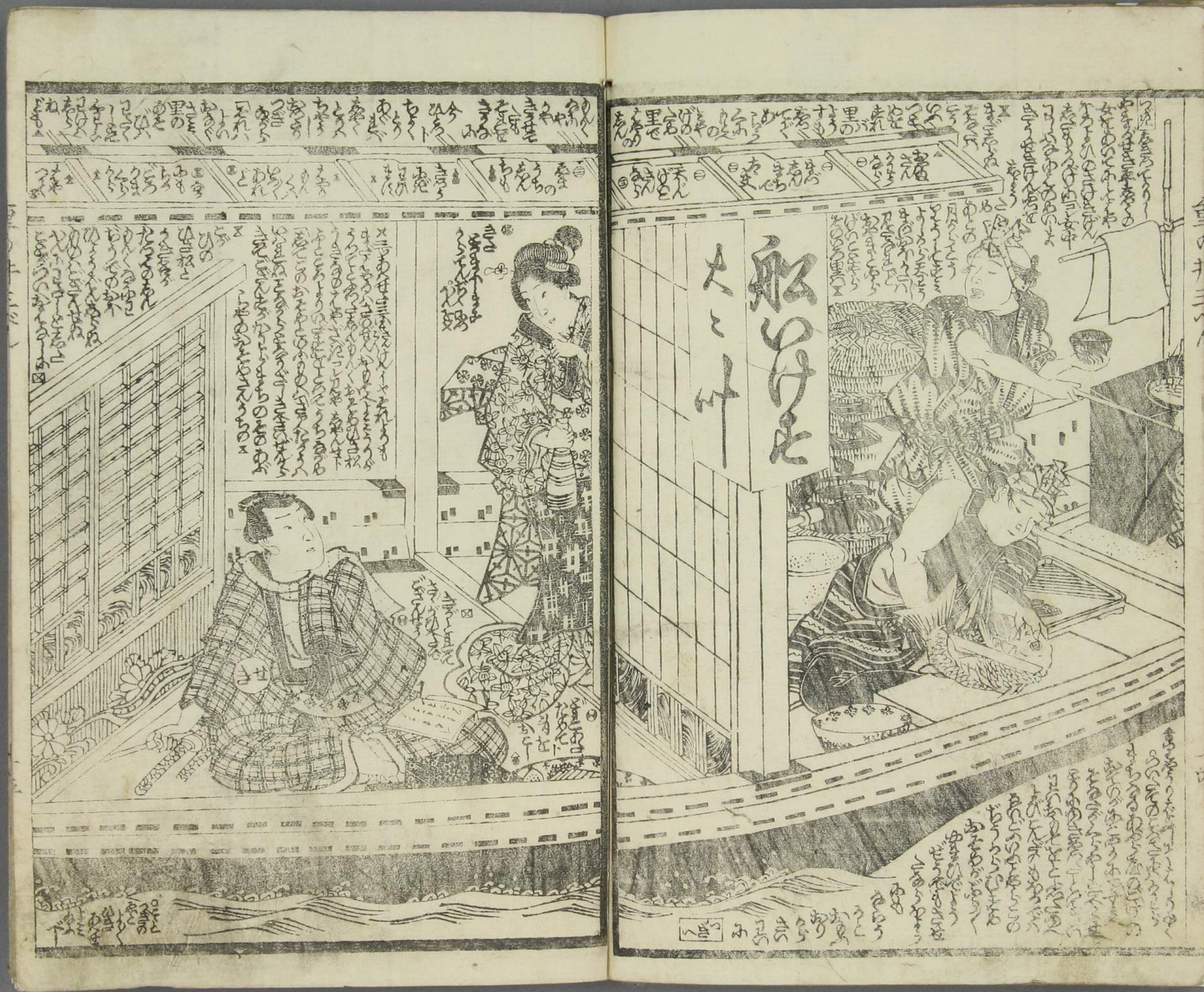
董井菱染別小文

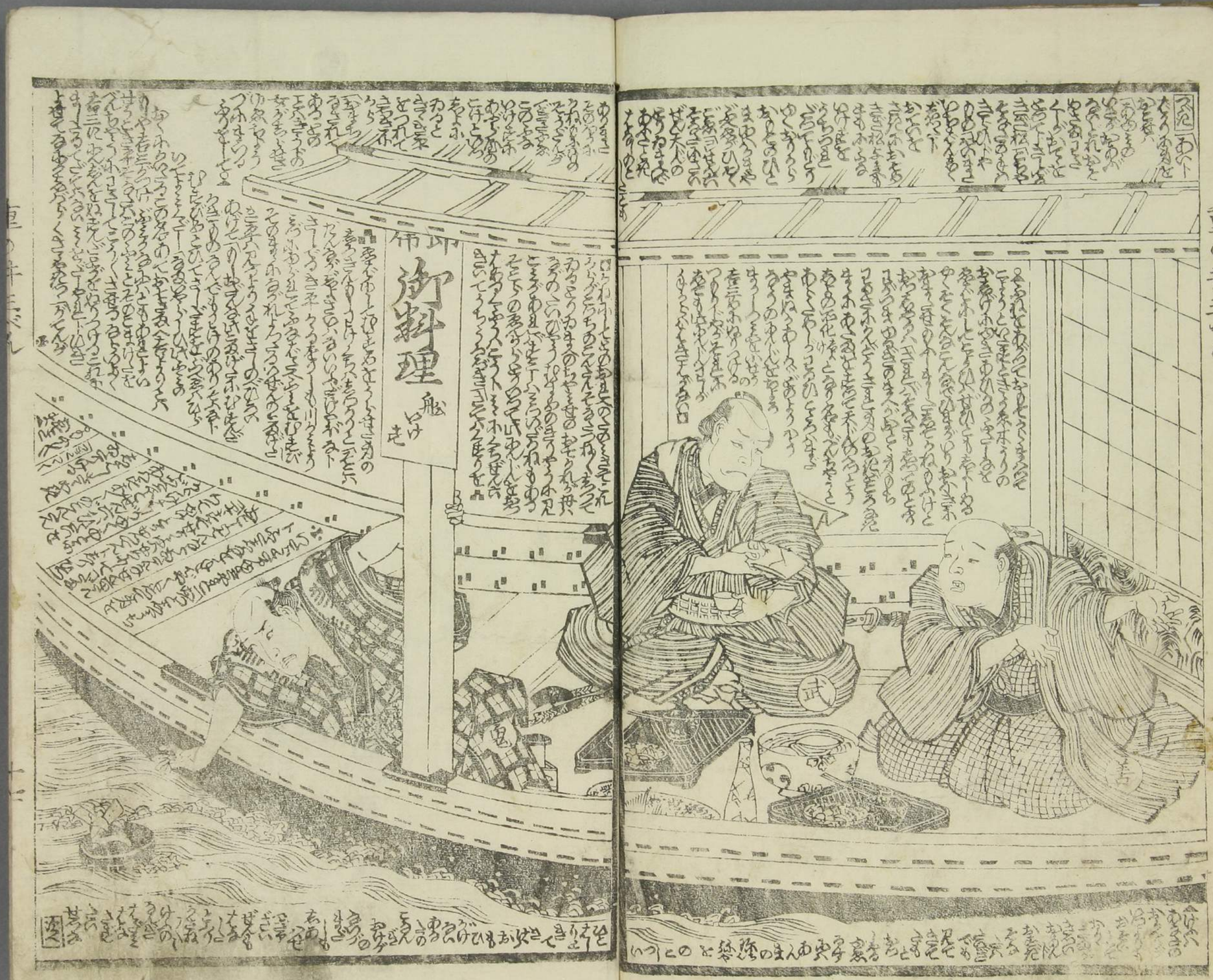
三編 下

東洲斎写楽
別小文三郎上
高砂春水作
一陽齋豊国画
鉢皇堂上梅

吉
久

天満宮
天満宮
忠孝




御料理
船

帳切帳入帳
動
武
杉

元治二年乙丑春新版目録

倭文庫　五十二編　五十三編　五十四編　一壽齋國貞画　万亭應賀作

新編朝日譚　編ヶ　御亭種彦作　編並　一恵齋芳幾画

重井菱深川八幡　為永春水作　歌川豊國画　大尾

常磐津懐中本　初編二編小編　三編四編　十返舎一九作　同　大尾

重檢草紙本類問屋　人形町上州屋重藏板